

<p>一学校教育目標一</p> <p>豊かな心をもち 自ら学ぶたくましい子 (1)よく考えねばり強く学ぶ子 (2)心豊かで思いやりのある子 (3)すすんで体をきたえる元気な子</p>	<p>学校便り 第25号</p> <h1>仲井真っ子</h1>	<p>H30年8月28日(火) 那覇市立 仲井真小学校 発行責任者 校長 宮里 寧 TEL 917-3330</p>
---	---------------------------------	--

## 1学期後半開始のお話朝会

### 「人を笑顔にする算数—おもいやり算！！」

本校の学校教育目標は、「豊かな心をもち自ら学ぶたくましい子」です。知・徳・体の調和のとれた豊かな人間性を培い、自ら学ぶ意欲を持ち、社会の変化に主体的に対応し、たくましく生きる児童の育成をめざしています。

さて、仲井真小学校では、本校の教育目標に近づくように、各教科での指導以上に、日常の過ごし方、生活面での指導を徹底しています。整理整頓や言葉遣い、挨拶、返事、時間管理等です。人間性がしっかりとすれば、おのずと授業の質も高いものになり、その結果としていい学びができるものだと考えていました。各教科の指導だけでなく、日々の行動のあり方を整えるように指導すると、不思議と学級の雰囲気が明るくなり始めます。

本校の教育目標に掲げられている「思いやり」とは、相手に対する心遣いや気配りです。生活面が安定すれば、自分のことだけを考えるのではなく、他人に対しての心遣いや気配りをもてるようになります。すなわち人間性が高まります。人間性が高まることで、学びの質もまた、高まるのです。

そこで、昨日8月27日(月)一学期後半初めてのお話朝会では、「人を笑顔にする算数—おもいやり算」と題し、子どもたちには、次のように話しました。

今でも覚えているテレビ広告があります。テレビをつけると、こんなテレビの広告がありました、と言って、スクリーンに次の記号を写しました。

+ - × ÷

「+」は、たすけあう。「-」はひきうける。「×」は、声をかける。そして、「÷」はわけあう。それは、人を笑顔にする算数、おもいやり算。ほら、やさしいでしょ。というテレビ広告でした。

「人を笑顔にする算数」、「ほら、やさしいでしょ」という言葉が私はとても気に入っています。小学校の算数では、「+」、「-」、「×」、「÷」が交ざった計算式を小学校4年生で学習します。その時に「計算のきまり」も学びます。

例えば、「 $5 + 2 \times 3$ 」という式は、「 $2 \times 3$ 」を先にするというきまりです。これは、たし算よりかけ算を先にするという約束です。

でも「おもいやり算」には、「たすけあう」より「声をかけあう」を先にするというきまりはありません。どこからやっても答えにあやまりはできません。

困っている友だちがいたら、「たすけあい」、損だな、嫌だなあという場面は「笑顔」で「ひきうけ」、よく「声をかけあい」、喜びも悲しみも「わかちあう」。

さあ、一学期の後半がはじまります。なかいまっ子も、「おもいやり算」をやってみませんか。そして、おもいやりのあふれる仲井真小学校にしましょう。